

天声人語

裏名披露といえば、芸に生きる者の晴れ舞台である。動物の鳴きまね芸で知られ、先頃亡くなつた四代目江戸家猫八さんの場合は、東京の上野動物園だった。寄席ではなく、声帯模写の「先生」たちのいる場所で芸を披露し、拍手を浴びた▼まるで裏名披露のようなこちらの会場も、拍手だけは大きいようだ。北朝鮮で36年ぶりに開かれた朝鮮労働党大会。独裁国家の3代目である金正恩^{キム・ジョン・ウン}第1書記は、カリスマ性のあつた祖父・故金日成^{キム・イル・ソン}国家主席をまねるかのようにスツ姿で現れた▼正恩氏がいま打ち出すのが、核開発と経済の立て直しを同時に進める「並進路線」だ。大会の報告でも、「責任ある核保有国」の言葉を使いつて他の軍事費を抑え、経済に力を入れるという理屈のようだ。だが、これは追えるはずのない二兎である。核にこだわれば外国の投資は期待できず、貿易も伸びない。経済は、国内の「足し算引き算」で片づく話ではない▼昨秋平壤を訪れた韓国の研究者によると、当局から厳しくチェックされたのは、持参したUSBメモリーをきちんと持ち帰るかどうかだつた。韓国ドラマなどを見るのに使われているという小さな機器に、神経をとがらす。経済発展には広い意味での自由が必要だが、認めたくないようだ▼祖父はまねても、多くの社会主義国から助けられていた過去は戻せない。勢い無謀な核開発に走る。國民でなく王朝を守るような姿勢は、いつまで続くのだろう。